MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって
ご挨拶

筑 波 大 学 長
永 田 恭 介

このたび、「夢キャンドルナイト 2023」が盛大に開催されます こと心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により開催が出来なかった 3 年間におかれましても、「 50 年後の子ども達へ 」のテーマのもと、常日頃から子供たちへの支援を考え精力的に取り組まれてきた NPO 法人夢キャンドルナイト 協議会の皆様、実行委員会の皆様、そしてご参加されている地域の皆様に敬意を表します。

今年の夢キャンドルナイトは、昨年に引き続き、戦争によって平和な生活が脅かされて いるウクライナの子ども達の支援も大きなテーマの一つとなっています。

本学では「ウクライナからの学生受入れについて」を公表し、経済支援 (渡航費や生活費支援等) をはじめとした学生支援の取組を 開始しました。これまでに 40 人以上のウクライナ学生の受け入れを決定して、渡日し、大学で学習・研究をすすめています。

筑波大学は、学問を愛し、自由を尊ぶものであれば、これまで通りに学ぶ場、研究する場を保障し、国籍などの違いによってお互いを傷つけ 合うことを許さず、トラブルや不利益に対しては、心のケアを含めて適切 に対応したいと考えています。

今回の夢キャンドルナイトで、皆様の平和を願う気持ちが遠く離れたウクライナの子どもたちへ届くことを願ってやみません。

結びに、今年の開催にあたって協議会ならびに実行委員会、関係者の皆様のご尽力に厚く感謝を申し上げるとともに、貴会の益々のご発展を 祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって
ご挨拶

筑 波 大 学
芸 術 系 助 教
加 藤　研

【ウクライナの麦畑と平和のハト】

昨年から、キャンドルナイトの会場デザインとチラシのデザインで協力させていただくことになりました筑波大学芸術系の加藤研究室です。私の研究室では、建築・都市のデザインに関する研究と設計を行って います。下妻のまちがより元気になるように頑張ります。

キャンドルナイトは子供たちの夢を育むために始められたイベントです。しかし、コロナ渦以降は、地域の大人たちが大声で子供を応援する機会が 少なくなってしまいました。コロナ後に開催されるキャンドルナイトが、世代を超えた楽しい交流の時間になることをお祈りいたします。

また、今年のキャンドルナイトは昨年に引き続き、国境も超えて、ウクライナの平和を願う時間にもなります。そのため、会場デザインでは、ウクライナ人の筑波大学生である研究室メンバーがラフスケッチで、ウクライナの麦畑を描きました。そのデザインをもとに研究室メンバー達が、中心に平和の二羽のハトを仲睦まじく描き、グランドデザインとしました。そのデザインを会場にキャンドルで描きました。

５つのハートの部分は空欄のままにしておきましたので、市民の皆さんの手によって「子ども達の夢」と「ウクライナの平和」につながる絵を、子ども達と大人が手をとりあって完成させて ください。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって
ご挨拶

茨城県教育委員会教育長
森 作　宜 民

「夢キャンドルナイト 2023」が、多くの方々の御参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、実行委員会の皆様をはじめ、活動趣旨に御賛同された企業、団体、県民の皆様が、2007 年度から開始した「50 年後の子ども達へ」のテーマのもと、地球温暖化問題や子ども達の未来の夢の応援、さらにはウクライナの子ども達への支援活動等に地域ぐるみで継続的に取り組まれていることに対し、心から敬意を表します。

本県では､2022 年に策定しました｢いばらき教育プラン｣の基本理念｢活力があり、県民が日本一幸せな県｣に基づき、次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくりや、安心して子どもを育てられ、多様性を認め合い一人一人が尊重される社会づくりなどに取り組んでいるところです。

そのような中、キャンドルの灯火のもと、家族や友人と静かに語り合うことは、地球エネルギーや世界平和の大切さを再認識するとともに、人との絆を深めることができ、さらには今私たちができることを考える大変有意義な機会になると思います。

「夢キャンドルナイト 2023」の開催が、環境問題や絆の大切さなどについて改めて考える契機となりますよう御期待申し上げ、お祝いの御挨拶といたします。
あわせてキャンドルナイトの成功をご祈念申し上げてメッセージとさせていただきます。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって

下妻市教育委員会
教育長　中山　均

このたび「夢キャンドルナイト２０２３」が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。昨年度に引き続き夢キャンドルナイトが開催されますことは、関係各位のひとかたならぬご尽力の賜であり、深く敬意を表します。

さて、アフターコロナの中、市立小中学校においては、以前と少し形を変えながら、運動会、部活動大会、修学旅行、宿泊学習、遠足などの行事が開催されるようになりました。子どもたちが共に学び、共に遊ぶ姿を見るたびに、改めて学校行事や集団生活の意義を感じております。

また、市立小中学校では積極的にＳＤＧｓの推進に取り組んでいることから、子どもたちは地球温暖化や海洋汚染など環境問題に関する学びを深めています。身近なことや自分たちができることについて調べ、考え、発表することにより、子どもたちは持続可能な社会の実現に向けた行動を開始しています。

そして、子どもたちの夢や希望が未来永劫続く持続可能な社会を実現することは、私たち大人の責任です。子どもたちの未来に対して責任ある行動を取るため、私たちは身近なことや個人でできることから、持続可能な社会の実現に向け、積極的に取り組まなければなりません。今回の夢キャンドルナイトをきっかけとして、一人でも多くの方が地球温暖化をはじめとする環境に関する諸問題を考え、行動を起こすことを強く望みます。

結びに、子どもたちに平和で明るく希望に満ちた未来が開けることを期待しますとともに、「夢キャンドルナイト２０２３」の成功と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって

常総市教育委員会
教育長　岡野　克巳

「夢キャンドルナイト２０２３ 」が、多くの方々の参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、実行委員会の皆様をはじめ、活動趣旨に賛同された企業 、団体、市民の皆様が「～50 年後の子供たちへ～」のテーマのもと 、未来の子どもたちと地球のために、地球温暖 化防止に取り 組まれていることに対し敬意を表する次第であります。

本イベントは「あかりを消して、スローな夜を」の合言葉のもとに, 、環境問題から発展して、自然災害、世界平和など, 、私たちが身近 な問題として捉える機会を提供するという点で、実にメッセージ性 の高いものと思います。

本イベントの、今後さらなる発展をご期待申し上げますと ともに, 参加される皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶 といたします。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって
ご挨拶

八千代町教育委員会
教育長　　関　篤

「夢キャンドルナイト 2023」が多くの方々のご尽力とご参加のもと、盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。

50 年後の子供たちへという趣旨のもと、子供たちの「夢」が展示され、キャンドルで彩られる・・・何と素晴らしいイベントでしょう。自分の将来に夢と希望をもって進んでいくことは、子供のみならず人間にとっての生きるベースです。別の言い方をするならば『意欲』ということです。

私は、『意欲』と『思いやり』をもち、そして『命』を大切にすることが、人生の大きな道標となると考えています。人は一人では生きていくことができません。自分は、大切です。他人を大切にし、思いやる心をもって生きることが社会の基盤です。つまり『思いやり』です。『命』を大切にしていくことこそが生きる土台です。

地球温暖化問題を考える時、自分自身の生き方を振り返り、どう生きていけばよいかを自分なりの考えをもち、共有していくことが望まれます。世界平和を思う時、『命』のことをまず考えるでしょう。そして、どうすればいいかを問うでしょう。

持続可能な社会の実現、その実現にむけての担い手である人財の育成をするためには、SDGs の推進が不可欠です。「夢キャンドルナイト」は、まさに、このことをねらいとした事業です。そして、これらを考える絶好の機会です。このイベントが、自分自身を見つめる、見つめ直す、決意する場となることを確信します。

最後に、「夢キャンドルナイト」の成功をご祈念申し上げ、関係者のみなさまに厚くお礼申し上げ、お祝いのあいさつといたします。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって

茨城県立下妻第一高等学校
校長　渡邉　剛

今年も「夢キャンドルナイト２０２３」が下妻市･砂沼広域公園で開催されること、心よりお祝い申し上げます。

この夢キャンドルナイトが掲げている趣旨に賛同するとともに、その趣旨は高校生も含め、今回参加される皆さんと一緒に考えていかなくてはいけない問題でしょう。

現在、下妻一高では探究活動に力を入れております。１学年では世界に目を向け、SDGs を研究テーマとしています。また、昨年度、全国英語弁論大会に出場した生徒の弁論内容は平和についてでした。オンラインゲームで知り合ったウクライナの友人からウクライナの現状を知り、平和について考え、調べ、行動したことを発表しました。彼女はこの経験により自分がただの高校生ではなく、平和に貢献するという使命をもった高校生に変わったと語っています。

高校生たちは現在、夢を追いかけて日々頑張っています。将来はそれぞれの分野で社会に貢献できる人材に育ってくれることでしょう。

「５０年後の子供たちへ」

私たちは、未来の子供たちにも現在の子供たちと同じように夢を追いかけることができる世界を残さなければなりません。この思い、キャンドルナイトを通して分かち合えれば幸いです。

MESSAGE

夢キャンドルナイト 2023 にあたって
ご挨拶

茨城県立下妻第二高等学校
校長　鮓川　好夫

下妻の夜空を希望の光で照らす「夢キャンドルナイト 2023」が、昨年に引き続き盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

昨年同様、今年も本校からたくさんの生徒たちが、ボランティアとして当日朝早くから、お手伝いをさせていただくととこなりました。若者たちが自分たちの住む地域の活性化、環境問題の解決、そして世界の平和を祈りながら、少しでも力になろうとしている、そんな彼らの純粋な心の光をこのキャンドルライトに託すことができれば幸いです。また、地域のために、未来のために、自分たちが貢献できることにチャレンジしようとする若者がこんなにもいることを、とても頼もしく、とても誇らしく感じます。

世界では、コロナ禍が明けたにもかかわらず、環境問題、貧困や飢餓、人権侵害など様々な問題がひしめき合っています。今こうしている時間にも、遠くヨーロッパのウクライナや中東のイスラエル・ガザ地区では、多くの人々が戦火の中、命の危険にさらされています。それでも、このキャンドルナイトで火がともされる一つ一つのキャンドルには、地域の子供たちによって書かれた将来への希望、平和への希望に満ちています。

これらの「希望の光」を見つめながら、今宵のキャンドルナイトの成功と明るい明日の到来を祈念して挨拶とさせていただきます。